

イオンモール今治新都市

AEON MALL IMABARI NEW CITY

No. 05-044-2016作成

新築
物販／飲食

発注者	イオンモール株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術／FB
設計・監理	KAJIMA DESIGN		E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
施工	鹿島・白石建設工事共同企業体		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

丘の上にたたく滞在型ショッピングモール



イベント広場：風を感じる外部空間に憩いの場を提供

イオンモール今治新都市は、瀬戸内を渡る『しまなみ海道』の起終点である今治市の高台に位置する。一年を通じて日照時間が長く、降雨量や台風被害の少ない穏やかな気候である。丘の上に建つ立地条件から、巨大な建築物とせず、水平を保ちつつ分節させた低層ファサードとすることで周辺環境に調和させた。約120の専門店・映画館で構成し屋上を駐車場としたインモール棟を中心に、低層のレストラン棟・JA運営の飲食店

(別設計)を分棟配置し、壁面線や庇の形に変化をつけることでヒューマンスケールな半屋外空間を創出している。

建物のコンセプトは「イベント」「食」「集い」をテーマに、コト消費を誘発する新しい屋外商業空間の実現である。各棟の間に生まれた半屋外空間では、自然エネルギーをほどよく取り込むことで、来客が心地よく過ごせるよう環境配慮を行っている。

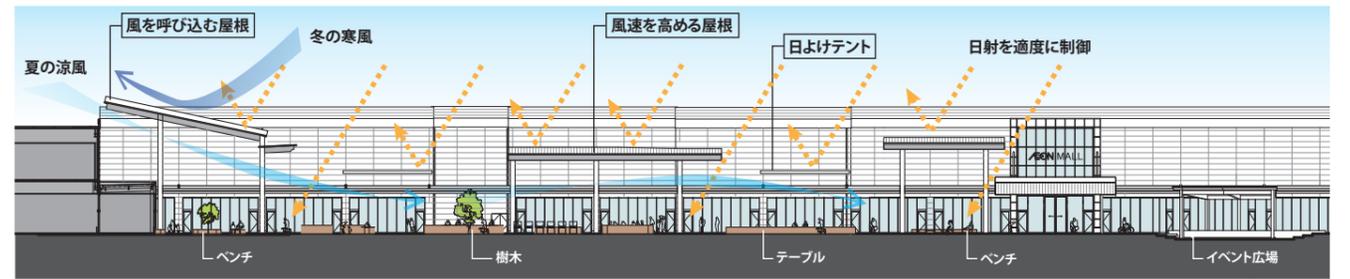
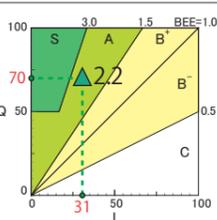


鳥瞰全景



平面図

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	BPI	Aランク
竣工年	BEI (通常の計算法)	BEE=2.2
敷地面積	LCCO ₂ 削減	2014年度版
延床面積		自己評価
構造		
階数		



中庭断面図

快適な半屋外空間の実現

建物で囲まれた「イベント広場」「しまなみダイニング」は、連続する庇と大屋根により半外部化することでモールの中心となり、レストラン棟からしみだす「ソト飲食」によって、多世代が自然に集う新たな発信の場となっている。明かり取りのある大屋根と開閉可能な日よけ・高木によって、気流と日射の制御を行い、風を感じる「快適な半屋外空間」を実現している。

なお、本計画においては、瀬戸内特有の卓越風を制御して中庭の温熱環境を快適にするため、夏の涼風（微風）の取込みと冬の寒風の遮断効果のある大屋根形状を開発し、特許出願を行っている。

環境負荷抑制／省エネ／BCP対応

敷地は粘土層が多く透水係数が低いいため、雨水貯留槽によって豪雨時の雨水流出を調整することで、都市インフラへの負荷を抑制している。内部照明はすべてLEDを採用、外構にソーラーLED照明を採用することで、電力負荷削減に加え、震災等による停電時にも点灯可能としている。厨房排水中継槽の簡易グリストラップ化により、ローコストで放流水質を改善した。

地元産業への配慮

地元の伝統産業である「菊間瓦」によるアートワーク演出（鬼瓦・瓦の灯籠・レリーフ等）を試みた。伝統技術を背景にしながらもなじみやすい表現で、瓦技術を紹介している。また、敷地内にはJA運営の農産市場と地元食材を使った飲食店を併設し、地産地消を目指している。

生物環境の保全と創出

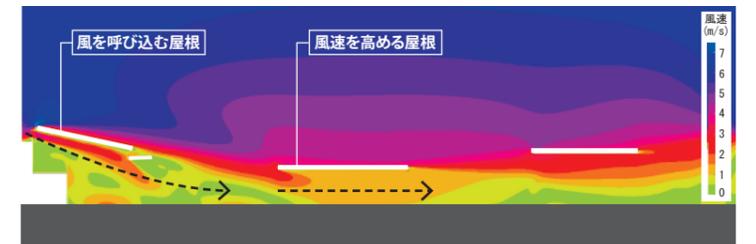
造成後に生じた法面には保全のための簡易な緑化が行われていたが、自生種によるさらなる植樹を行うことで、周辺環境に調和した自然の再生・保全を目指した。地元住民の参加による「イオンふるさとの森づくり」では、敷地内の約7,000㎡で自生種による杜の再生を図っている。

設計担当者

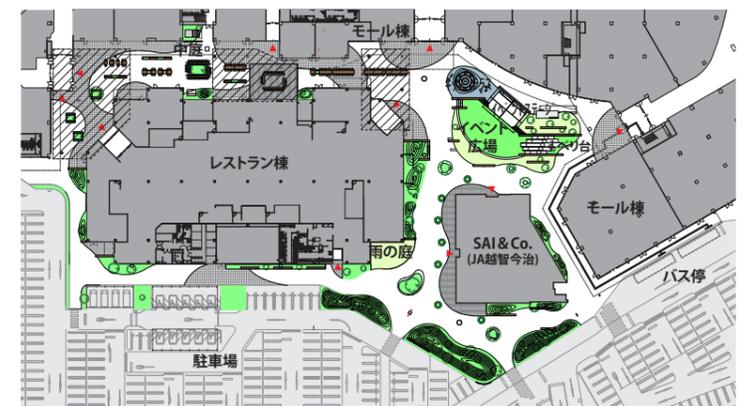
建物監理 松田平田設計：河原英則、垣内昇／マスタープラン・環境デザイン ディ・ブレイン研究所：小林博之、京田康介／テナント内装監理 ジーク：島崎淳／設計 KAJIMA DESIGN 統括：高田輪太郎／建築：谷口勝之、桐島徹、内藤俊彦、橋佑手、津川康次郎、金尾正太郎／構造：羽田尚広、館野公一、岡村卯吉／設備：廣瀬裕二、谷口和信、村松繁紀

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（自生種をメインとしたイオンの森活動、中庭・広場の外構緑化）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（低層、良好な植栽、地域性のある菊間瓦の採用、直近の運動施設からの景観、照明センサーの採用）
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（大屋根による屋外空間の気流制御、地域交流を促すイベント広場、伝統産業品の採用）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（高効率熱源・変圧器の採用、映画館の空調にCO₂濃度制御装置、全室LEDの採用）
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減（地盤改良用製鋼スラグの採用、縁石の代わりに間伐材を採用、躯体のPC化）
- LR3. 2. 地域環境への配慮（厨房排水中継槽の簡易グリストラップ化による放流水質の改善、日蔭の形成）



風環境シミュレーション



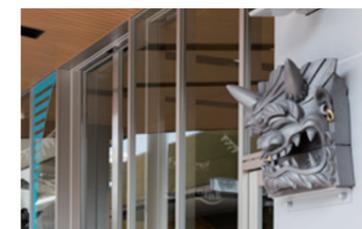
中庭平面図



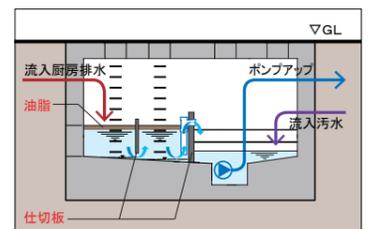
しまなみダイニング



風を呼び込む屋根



鬼瓦



厨房排水中継槽